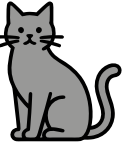




# 環境保護活動 活動報告



宇佐神宮ガイド

## 春から夏：地域に根ざし、文化を繋ぐ

5月の「USAフェス」での落ち葉クッキー配布、エコワークを皮切りに、6月には宇佐神宮での植物と歴史に触れるガイドツアー、福祉施設での芋の苗植え。7月には芋の苗植えイベントやコープおおいた主催の「平和のつどい」で活動紹介をかねてシモン芋のコロッケパンを販売し完売しました。地域の歴史や文化に触れながら、多世代・多文化が交流する場づくりを大切にしています。



九電イベント

## 新しい年：温かな繋がりと未来への一歩

1月の九電大分ビルで開催された「スマイルフェスティバル」や、るるパークでの「自然観察会とコンポスト体験会」。そして3月は地元の小学生と高校生の交流と土の勉強会として「落ち葉銀行ハートプロジェクト」を開催。子どもたちが協力して地域の活力づくりに取り組んでいます。



落ち葉貯金箱

## 秋：資源を回し、恵みを分かち合う

9月の「みなとまつり」で文化交流事業を経て、10月からは「落ち葉銀行プロジェクト」の活動を本格化。流木や伐採枝を活用した落ち葉貯金箱をつくり、落ち葉を貯めて腐葉土をつくります。11月には福祉施設にて芋掘りイベントを通じて、地域の未利用資源を価値あるものへと変える「資源循環」の取り組みを広げています。



落ち葉銀行プロジェクト

## 私たちのこれから

年間を通じて、地域の皆さんとともに笑顔の絶えない活動を継続することができました。私たちはこれからも、「自然と人のつながり」を大切にしながら、心地よい循環の輪を広げていきます。そして、子どもから大人まで多様な人が関わり合い、支え合うことで、持続可能であたたかい地域づくりを一步ずつ進めていきたいと考えています。「みんなのおうち」は、これからも皆さんの「やりたい」や「楽しい」が集まる、風通しの良い場所であり続けます。



紙漉き体験

## 冬：学びを形にし、次世代へ手渡す

宇佐市内にある小学校へ出向き、紙漉きワークショップの出前授業を行いました。焼酎パックの損紙を材料にしたパルプで子どもたちが自分たちの手で紙すきを体験することで、環境への関心を育むとともに、アップサイクルへの理解を深める機会となりました。



絵本プロジェクト

## 令和8年度の活動は・・・

2年目の「落ち葉銀行プロジェクト」の活動や情報科学高校「未来創造部」の生徒さんたちと環境をテーマにした絵本プロジェクトがスタートします。落ち葉銀行ハートプロジェクトでは学校連携に加え、まちづくり協議会がサポートしてくれることで構造を強化したり、これまでご縁があった方々との地域連携も深化させていこうと思っています。これらの活動を通じて、子どもたちへ環境の大切さを伝えていく挑戦を続けます。